ヨコハマプロジェクト 検索

https://yokohamapj.org

ツナガリウォーク

Tsunagari Walk in YOKOHAMA 2025

#ヨコハマプロジェクト #共生社会 #ツナガリウォーク

#YOKOHAMA PROJECT #Inclusive Society #tsunagari walk

Contents

◆代表者のことば、キービジュアルの紹介

◆開催概要、ヨコハマプロジェクトの会社概要

◆開催までのながれ

◆実施体制、開催結果

◆大切している3つのつながり

◆当日の様子

◆ファミリーフォト

◆参加者の声

◆Special thanks、会計報告

ツナガリウォークは10周年を迎えました

一般社団法人
ヨコハマプロジェクト
近藤寛子

ツナガリウォークは2025年、皆さまの温かなご支援により、10周年という節目を迎えることができました。2015年、ダウン症のある子どもとの出会いをきっかけに、「障がいのある人もない人も、互いを知り、認め合える社会を目指して歩こう」と始まったこのイベントは、この10年多くの方と“つながる”ことの大切さを分かち合ってきました。
今年は「つながった　ひろがった　次の一歩もみんなと」をコンセプトに「つながり」の原点を改めて確かめる機会となりました。
これまで関わってくださったすべての皆さまに、心より感謝申し上げます。これからも、出会いや対話を生み出す場として、共に歩みを進めてまいります。

イベント開催概要

項目	内容
イベント名	ツナガリウォークinヨコハマ2025
開催日時	2025年4月27日（日） 11:30～16:00
開催場所	山下公園 （集合場所：おまつり広場） 〒231-0023 神奈川県横浜市中区山下町279　山下公園
概要	障がいのある人もない人も、お互いがその違いを認め合い、共に歩み、共に創るイベント。
参加費	無料
主催	一般社団法人 ヨコハマプロジェクト
共催	神奈川県　ともに生きる
協賛	株式会社 デル・テクノロジーズ/株式会社 Fast Fitness Japan(エニタイムフィットネス本部) 認定NPO法人アークシップ/イベンタス株式会社/株式会社 オグラ/えがこう！/株式会社メディックGRIT/株式会社マスタックエフ/有限会社天吉/株式会社ダスキン/株式会社テクノジャパン/LLCマトリクスK（順不同）
後援	神奈川県教育委員会/社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会/横浜市健康福祉局/横浜市教育委員会社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会/川崎市教育委員会/相模原市教育委員会/公益財団法人 日本ダウン症協会(JDS) （順不同）

団体概要

about ヨコハマプロジェクト

ヨコハマプロジェクトは、ダウン症のある人を知るイベント開催をきっかけに発足した、「多様性」をコンセプトに活動する団体です。私たちは、障がいのある人もない人も、互いを認め合い、ともに力を発揮できる社会、そして、逆境を成長につなげられるレジリエントな社会づくりへの貢献をめざし、横浜を拠点に活動しています。

ヨコハマプロジェクトの3つの事業を中核に活動を行っています。

1 ふれあう SENCE

2 伝える COMMUNICATE

3 学び合う THINK & INNOVATE

開催までのながれ

2024 11月 事前準備

2025 1月
企画運営委員会発足
実施体制、イベントコンセプト
準備スケジュール検討

2025 2月
ツナガリウォーク特設サイト
案内チラシ発行

キックオフMTG
第1回 2/16 第2回 2/19

参加申し込み手続き
ボランティア募集開始

2025 3月
つながるグッズ企画・製作
イベント詳細準備
（タイムテーブル、会場レイアウト等）

つながるTシャツ販売開始

2025 4月
参加団体・ボランティア向け
直前ミーティング
第1回 4/13 第2回 4/15

ツナガリウォーク
開催当日

お疲れ様打ち上げ

2025 6月
報告会

来年は 4/26 決定！

企画運営委員会 始動

特設サイトを開設

第1回説明会を開催

つながるグッズ製作・販売

Road to

ツナガリウォークは、開催の約半年前のキックオフミーティングから始まります。その後、出店者様、ボランティアの皆様とイベントへの思いを共有しながら当日を迎えます。

「委員長」 近藤

案内チラシ

「デザイン担当」

八巻

キービジュアルの作成に始まり、チラシ、つながるグッズ当日パンフレットや総合看板のデータなど、デザイン全般の企画・製作を行いました。会場の雰囲気を思い浮かべながら温かくホッとするようなデザインにしました。

当日パンフレット

SNSで随時配信

ご来場いただいたお客様へのインタビュー動画の撮影、本部ブースで様々な業務に携わりました。

沖野 「撮影担当」

出店団体さんの紹介やイベント情報のあらゆることを随時SNSを通じて配信しました！またつながるTシャツではBASEでの販売・集計・発送作業の依頼等を担当しました。

「広報担当」

福田

実施体制

主催

一般社団法人 ヨコハマプロジェクト

本部

ツナガリウォーク企画運営委員会

委員長 ： 近藤
ステージ ： 曽田
広報 ： 福田
ボランティア配置 ： 深澤
デザイン ： 八巻
ウォーク・お楽しみ企画 ： 越場、深澤
協賛 ： 長谷山・越場
YPJブース ： 越場・八巻
撮影 ： 長谷山、岡田、沖野
会計 ： 近藤、川上
救護・ベビーブース ： 幸坂
事務局 ： 片野

ボランティア

撮影・救護・設営・アクティビティ・ワークショップ補助
ウォーク応援・警備

協力

舞台準備・音響・グッズ制作・特設サイト
建て看板

共催

神奈川県

来場した赤ちゃんとパパママのためにベビーブースの企画・運営を行いました。救護テントでは、ケガや熱中症の対策を練り、救護班を取り仕切りました。

「救護・ベビーブース担当」 幸坂

協賛を募り、団体様の対応をしました。イベント当日は会場の様子をカメラに収め、TWウォーク名物「つながるフォト」にもチャレンジしました。

「撮影担当」 長谷山

「ステージ担当」

各団体様へのメールでの情報発信、ステージのタイムテーブルの調整、当日はリハーサル、本番、出演まで、細やかにコミュニケーションをとりながら、カラフルなステージを取り仕切り、イベント会場を盛り上げました！

曽田

「ボランティア・お楽しみ企画担当」

深澤

ボランティアさんへの連絡作業、当日の詳細、割り振り業務等を担当しました。また、事前準備のミーティング会場や当日の打ち上げ会場探しやセッティングも行いました。

開催結果

参加者数	・・・・	約6000人 ※出店者、ボランティア参加者を含む
参加者満足度	・・・・	100% ※参加者アンケートにて「大変満足した」「満足した」の回答率
出店者数	・・・・	48団体
協賛団体数	・・・・	13社
ボランティア協力者数	・・・・	約100人

過去最多！

申請業務から、出店者様とのコミュニケーション、説明会の司会、会場レイアウトetc…
ツナガリウォークを総合的に取りまとめました！

「事務局」 片野

大切にしている「3つのツナガリ」

着て ツナガル

大切だね

着ることは「つくる人」と
「着る人」をつなぐ
そしてつくる人の「支援」に
つながっていく

つながるTシャツ

「つながるＴシャツ」は、障がい者の社会参加と自立支援をバックアップするブランドequalte（運営：NPO法人ディーセントワーク・ラボ）によって提供され、東京都武蔵村山市にある社会福祉法人あかつきコロニーの皆さんの丁寧な手仕事で作られています。
並んで着ることで胸のラインがどこまでも長くつながっていく。子どもも大人も。障がいのある人もない人も。つながる、つながる。
願いと想いがたくさん込んだTシャツです。

あかつきコロニーさんの作業風景

「つながるTシャツ」の発送作業は、NPO法人まどかわーくす太尾さんにご尽力いただいています。

歩いて ツナガル

大切だね

障がいのある人、ない人
お互いの存在を感じながら
同じ時間に同じ場所を歩く
ただそれだけ

ツナガリウォーク

「多様性」ってなんだろう？耳にはするけれど。
障がいのある人がいる。でもよく知らない。
港を持ち、異文化交流の歴史が深い横浜で、障がいのある人もない人もお互いの存在を身近に感じ合える場を作りたい。そんな想いからツナガリウォークは始まりました。
テーマソング「ステキなリズム」の歌詞にもあるように、それぞれの歩幅で歩けばいい。ゆっくりでも大丈夫。
共に歩く象徴として小さな「手旗」を作りました。
手旗は、社会福祉法人こうよう会多機能型事業所ジャンプさんに仕上げていただきました。

ジャンプさんの作業風景

体験して ツナガル

大切だね

音楽・ダンス・ワークショップ。小さいお子さんから大人まで楽しめるツナガル体験がいっぱい。

多彩なツナガル体験

ツナガリウォークのイベント会場では、多彩なショップ、ステージ、アクティビティが盛りだくさん！ご来場者の皆さんと「安心・安全」につながるために、出演・出店者様には２回の説明会と振り返り会にご参加頂き、イベントへの思いの共有化を図っています。
ツナガリウォークは、関わってくださる全ての方々の働きとホスピタリティによって支えられています。

当日の様子

山下公園　おまつり広場

給水所　トイレ　救護　授乳・オムツ替

ツナガリウォークルート

体験してツナガル

着てツナガル

「つながるTシャツ」は着ることで、
着る人とつくる人がつながりまた作る人
の自立支援になること
をイメージして生まれたTシャツです

後藤京子さん　障がいのあるお子様とそのご家族のためのフォトグラファー

後藤京子さんは、写真家であり障がいをもつ子の母でもあります。
ツナガリウォーク発足から10年、一緒に歩んできてくださいました。撮影した家族は300組を超え、その写真はいつも人と人があたたかくつながり自然と溢れてる幸せの瞬間を捉えています。

Thanks for

明るいトークで会場を盛り上げてくれたMCミキさん、イベント全般を支えてくれたアークシップさん、ホスピタリティ満載でお手伝いしてくれた本人ボランティアの皆さん、会場の安全を見守ってくれたガーディアンエンジェルスさん、素敵な写真を撮ってくれた岡田さん、総合看板をありがとう！イベンタスさん安心をくださった救護隊の皆さん、そして当日ボランティアさん。
皆さんのおかげでツナガリウォークは支えられています！

参加者の声

※ダウン症当事者のボランティアさん

お客様がとても温かく、パフォーマンスしている私たちが毎回感動します。沢山の方々がイベントの成功のために尽くしてくれているんだろうと感じます。大変だと思いますが、この有意義なイベントを長く続けていってほしいと願います。

出演者Ａさん

休憩もないほどお客様が来て頂きました！！皆様に喜んでもらえてスタッフ一同笑顔で溢れました。天候にも恵まれて、みなさん楽しそうに過ごされていてとても良かったです。またよろしくお願いします。

出店者Ｂさん

今回初めてボランティアスタッフとして参加させて頂き、私自身が子供達から沢山の笑顔と溢れる楽しさをもらいました。だれかと繋がることで楽しさが生まれ今まで気付かなかったものに気付くことができました。

ボランティア
Ｃさん

4つ竹をつくるお手伝いはたのしかった。来年もやりたい。

小さなダウン症の子がたくさん来てくれて嬉しかった。

歯科大さんのバタカラ体操が楽しかった。

本人※
ボランティアさん

とても優しく心地よい時間を過ごせました。今年は風もあり暑さはそれほど気になりませんでしたが飲み物を販売してくれたのも嬉しいです。色々なブースがあり、ブースの方々も温かい対応をしてくださって良かったです。

ご来場者さま

ステージに感動しました。目頭が熱くなり、楽しい場所でした。歯科大、理学療法士会など、お店同士が近くて、回りやすかった。ウォークに参加できて楽しかった。お土産がもらえて子どもが嬉しそうでした。

ご来場者さま

Special thanks!!

多大なるご支援、ありがとうございました

DELL Technologies
ANYTIME FITNESS
アークシップ
eventas
MASTAKE マスタックエフ
ツナガリ こどもメガネ アンファン
天吉
えがこう!
GRIT
タスキン レントオール DUSKIN RENT-ALL
株式会社 テクノジャパン
MEDIC 株式会社メディック
Matrix K

会計報告

収　入

項目	金額	備考
つながるTシャツ	¥419,765	
協賛・寄付・広告	¥1,324,700	
備品リース	¥266,640	リース出店者負担金
出店収入	¥140,362	キッチンカー等
その他	¥18,000	ステージ参加料
合計	**¥2,169,467**	

支　出

項目	金額	備考
賃貸料	¥689,040	テント机イス等
業務委託費	¥601,898	音響・舞台・各種製作
物品仕入れ	¥363,900	つながるTシャツ
会議費	¥163,840	打ち合わせ会場費等
消耗品費	¥121,725	事務用品・材料等
通信運搬費	¥63,813	
印刷製本費	¥56,800	リーフレット会場案内等
旅費交通費	¥39,400	交通費
その他費用	¥69,051	手数料・負担金・保険料等
合計	**¥2,169,467**	

差引収支

合計	**¥0**	

ヨコハマ プロジェクト